



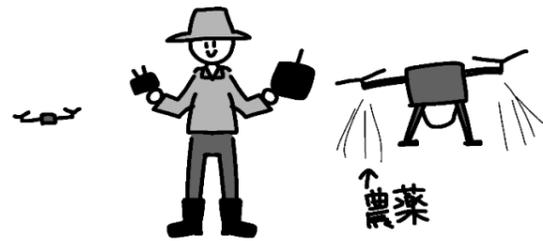
ほのかの活動報告

平日は「鮎やな」へ研修に、休日は「鮎やな」へアルバイトに行っている松田です。から揚げは仕込みから提供まで、しっかり流れが分かってきました。提供時のアレコレより、仕込みがとても大事なんですね。あとは鮎の背開きをスピーディにできるようにになれば、から揚げ屋さんを開けるかも！

8月はお盆ということで、終業後に盆踊りに参加してきました！8月14日は中津道、15日は古田に行ってきました。古田では、盆くどきが復活しました。段で踊りとくどきを聞いてきたのだそうです。中津道は、今年は盆くどきをせずに、坂本音頭と八代音頭を踊りました。そういえば、八代の海士江の盆くどきですが、曲調や踊りが中津道のものと似ているそうです。柿生の仏像が海士江にあるとも伺いましたが、海士江と坂本町の関係が気になりますね。

今年は日程が被って行けませんでした。花火がすごいと聞く百済来の盆踊りも行ってみたいです。

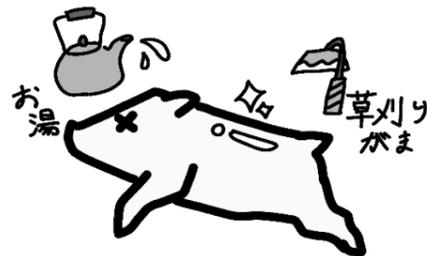
農薬散布ドローンの研修にも行ってきました！今泉など、あちこちでの散布に同行したりしました。飛行自体は本当にあつという間なのですが、準備がいろいろ大変でした。農薬散布ドローンは、撮影用ドローンとは比べ物にならないほどの大きさですが、すごい風量で飛ぶんですね。道路の落ち葉掃きに使えそうなほどでした。



ちなみにドローンの操縦機は、私の撮影用の物より農薬散布ドローンの方が軽かったです。私のは中古の安いやつですので、技術の進歩というものだなあと感じます。

最後に、たまに聞かれる鹿や猪の解体についてお話しますね。どちらも表面をきれいにする、内臓を抜く、骨を外すという流れは一緒です。鹿はとても皮を剥きやすく、すいすいと毛皮を脱がせることができます。昨年、麦島の方にあります「マルコーフーズ」さんというところで修行してきました。音楽を爆音で流しながら、涼しい部屋でどんどん剥くのは、かなり楽しかった思い出です！

坂本では、皮付きの猪肉が好まれますので、猪は毛に熱湯をかけて抜きます。これを湯剥きといいます。湯剥きすると真っ白な姿になり、豚みたいな見た目になります。ちなみにこの方法は、衛生的な流通のための『ジビエガイドライン』に引っかかるため、お店で販売することは難しいようです。ムチュチこりこりの皮が美味しいのに…。



現在地域おこし協力隊は、11月のふるさとまつりに向けて、美味しい鹿料理を研究中です！活動報告にあげていきますので、続報をお楽しみに～！



岡部ひら芙のさかもと日記

こんにちは！坂本町地域おこし協力隊の岡部ひら芙です。この記事を書いているのは8月中旬なのですが、毎日溶けるような暑さが続いていますね。今回は特別号ということで、①岡部、ドローンを買う ②夏の思い出 をお話しできればと思います。

ついに先日、ずーっと欲しかった撮影用ドローンを購入しました！ドローン免許は今年の初めに取得していましたが、肝心のドローンを持っていなかったためペーパードライバー状態でしたが、ようやく手に入れることができました。早速許可を得たうえで球磨川の河川敷をテスト飛行してみましたが、やはり空から見る球磨川の風景はより一層魅力的で最高でした。今後も坂本のいろんな地域を空から見てみたいと思うので、「うちの地域でドローンを飛ばしてもいいよ」という方がいらっしゃれば、ぜひご連絡ください！



そして二つ目は夏の思い出について。

お盆期間は故郷にも帰ったのですが、今年は親戚が大集合し総勢27人のにぎやかなお盆となりました。バーベキューをするということで、お土産として鮎を持って帰ったらみんな大喜びで、美味しい美味しいと食べてくれました。坂本では今も鮎釣りが盛んにおこなわれていますが、昔は手掴みで獲れるほどたくさんいたというお話も聞いたことがあります。こんなに美味しい鮎が食べ放題なんてその時代に私が生まれていたら、毎日鮎を食べていたと思います…。



夏の思い出はもう一つあり、大学時代の友人5人と久しぶりに集まったことです。大学の寮に入っていた仲間でもあり、また同じ釜の飯を食べようということで、ホテルなどに泊まるのではなく古民家を借りて自炊を楽しみました。ここでも鮎を持って行ったのですが、大好評で私の分の鮎まで食べられてしまいました。



宿泊したのは100年以上前に建てられた古民家で、井戸水を自由に使えたり、屋根裏部屋があったりと楽しい場所でしたが、大きな大きなクモがたびたび出現し、そのたびに悲鳴が響き渡る思い出深い旅となりました。

坂本でも昔の暮らしが体験できる古民家宿があったら楽しそうですし、私も泊ってみたいです！